

(8) 男性の育児休業利用状況

男性の育児休業利用割合は、8.0%と上昇傾向にあるが、依然低い水準となっている。

事業所における男性の育児休業利用割合は、前年度に比べ2.2ポイント増加して8.0%となりましたが、依然低い水準にあります。

グラフ19



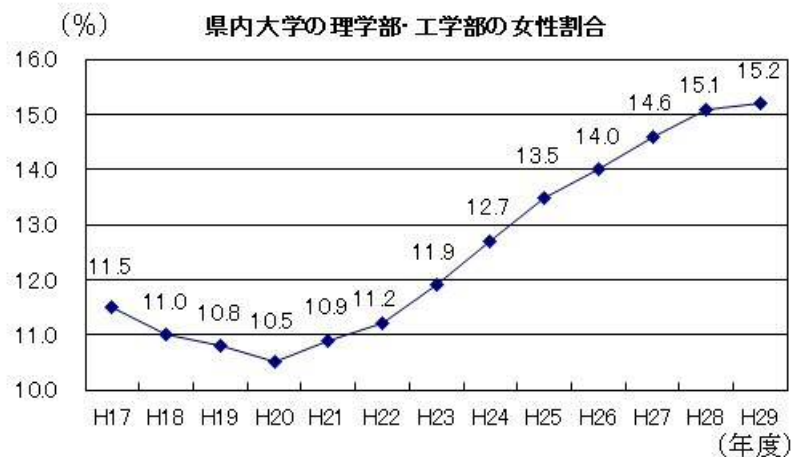
3 教育

1 県内大学の理学部・工学部の女性割合

県内大学の理学部・工学部の女性割合は、15.2%と9年連続で増加している。

平成20年度以降、県内の理学部・工学部の女性の割合は増加の傾向にあり、平成29年度は15.2%となっており、前年度より0.1ポイント増加しました。

グラフ20



(H18までは、「神奈川の大学統計」より作成)

(H19以降は「神奈川県学校基本調査結果報告」により作成)

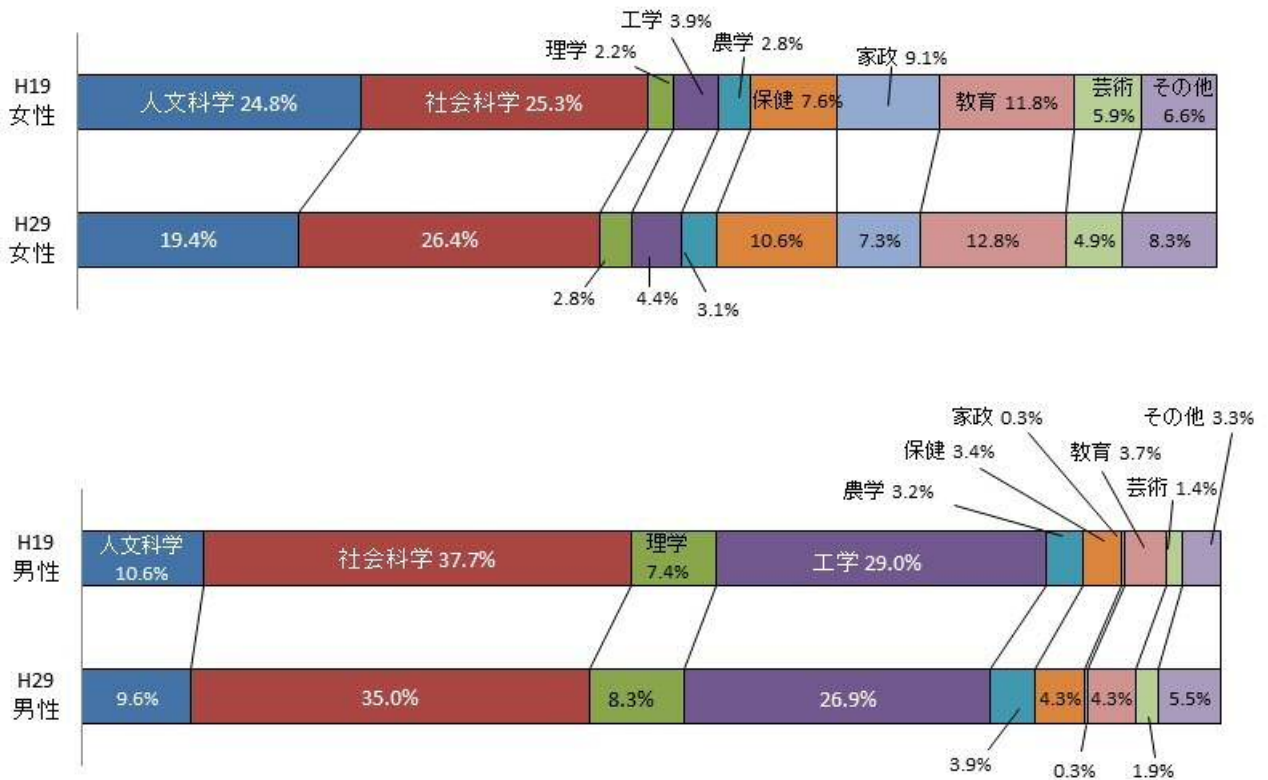
2 県内公立高等学校等卒業者の大学・短期大学の進学状況

県内公立高校等卒業者の女性の理・工学部への進路選択は、人文・社会科学部に比べると依然として少ない。

平成 29 年度の「公立高等学校等卒業者の進路状況調査」で、県内公立高等学校等卒業者の進学状況は、学部別にみると、女性は男性と比べて理・工学部への進路選択が少ない状況です。

平成 19 年度と比べると、女性は、理学部が 2.8% で 0.6 ポイント、工学部が 4.4% と 0.5 ポイント増加しました。

グラフ 21 大学・短期大学の学部別割合



(神奈川県「公立高等学校等卒業者の進路状況調査」より作成)